がんばろう日本！
がんばろう東北！

# 青森デスティネーション キャンペーンがスタート

**デスティネーションキャンペーン＝ＤＣとは…**
Destination（目的地・行き先）とcampaign（宣伝）の造語。
ＪＲ６社と地域観光関係者や地方自治体が協力して実施する日本最大規模の観光キャンペーン。

東日本大震災により開催が懸念されていた「青森デスティネーションキャンペーン」ですが、当初の予定通り4月23日㈯から実施されています。

昨年12月の東北新幹線全線開業効果の継続・拡大と、更なる誘客を図ろうと企画されましたが、この度の東日本大震災により東北へ足を伸ばす観光客は激減し、町内の観光施設もキャンセルが多くなっているのが現実です。

例年であれば、リゾートしらかみは休日になると満席となり、観光バスは何台も行き来していますが、今年は空席も目立ち、観光バスもほとんど見かけません。

それでも、観光関係者は、訪れた観光客におもてなしの心で接し、「深浦から元気を！」と張り切っています。

このキャンペーンは7月22日㈮まで実施することとなっていますが、当初の計画通りの誘客は厳しいかもしれません。しかし、町の主要な産業である「観光」の元気を取り戻すため、町民が一体となって観光客をもてなすことで、訪れる観光客も増えるはずです。そして深浦のもてなしを東北各地へ届けましょう。

がんばろう日本！
がんばろう東北！

❶　五所川原駅長より委嘱されたウェスパ椿山観光駅長の皆さん（県内で観光駅長はここだけ）
❷❸　あいにくの雨模様にも関わらず４月23日より運行を再開したリゾートしらかみをもてなしの心で歓迎
❹　今年から十二湖散策の際に活用予定の音声ガイド機。写真を専用のペンでタッチすると音声ガイドが流れる。日本語の他、英語、中国語、韓国語に対応。
■問合せ先　アオーネ白神十二湖　℡77－3311
❺　青森デスティネーションキャンペーンに合わせて県内自治体で初めての取組となる観光ＰＲ用フレーム切手「深浦日和」。町内観光施設にて発売中で売上の一部を被災した方々へ義援金として送る。
■問合せ先　観光課　℡74－2111（内154～5）
❻　沸壺の池がＪＡＬキャンペーンポスターに採用（青森県の観光地として初の快挙）



## 観光シーズンの幕開け
### 白神十二湖山開き

4月5日、春の観光シーズンの幕開けを告げる白神十二湖山開きがアオーネ白神十二湖で行われました。

山開き式典に先立ち行われた安全祈願祭には、吉田町長はじめ関係者約100人が出席。この度の東日本大震災により亡くなられた方へ黙祷をささげた後、玉串を捧げ、観光事業発展と観光客の安全を祈りました。

山開き式典では、吉田町長が「被災地の皆様に特別の思いを寄せた意義のある祈願祭として開催を決意し、長い冬からカラフルに目覚める4月の十二湖の美しさを胸に、被災地の皆さんを応援する。」と語り、観光シーズンの幕開けを祝いました。

式典終了後、関係者はバスに乗り込み、まだ残雪の残る十二湖へ移動し、青池を散策しました。この日は、気温は低いものの雲ひとつない天候で、陽光の差し込んだ青池はまさに透き通った群青色であり、関係者の目を和ませていました。

観光事業の発展と観光客の安全を祈願

美しい色合いを見せる青池

## きれいな町は自分たちで
### ～沿道美化清掃～

4月16日、住みよいきれいな町づくりを目指して、町内全域で沿道美化清掃が行われました。当日はあいにくの雨模様にも関わらず町民約3,500人が参加し、早朝から沿道や海岸沿いのゴミを拾い、側溝の泥上げに汗を流しました。

沿道は空き缶やペットボトル、ビニール袋のゴミが多く、海岸沿いは発砲スチロールや漁具などの漂着ゴミが大量に散乱している状態。参加者は一つ一つ分別しながらゴミ袋がなくなるまで拾い続け、ゴミの多さに驚いていました。

この日集めたゴミは、燃えるゴミが約10トン、燃えないゴミが約7トンにもなり、深浦町工匠会やＦＣＴ等の協力により運搬されました。

地域住民や他方面の協力により、住みよいきれいな町になったこの環境を維持するためにも、「ゴミを捨てない」「町を汚さない」という気持ちを持って過ごしましょう。

雨の中、ゴミを集める住民（横磯地区）

側溝の泥上げを行う住民（岡町地区）